

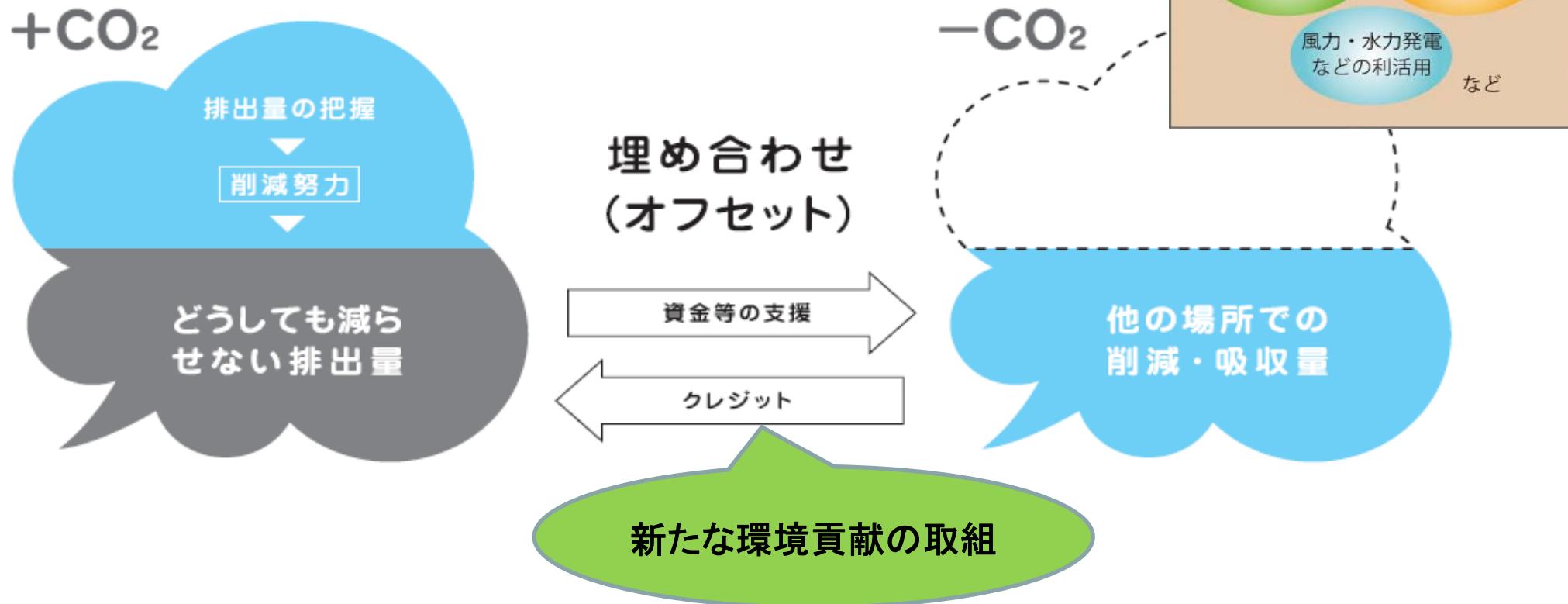
カーボンオフセットを活用した 企業の温暖化対策

カーボンオフセット協会
副会長 (株)エコノス 長谷川勝也



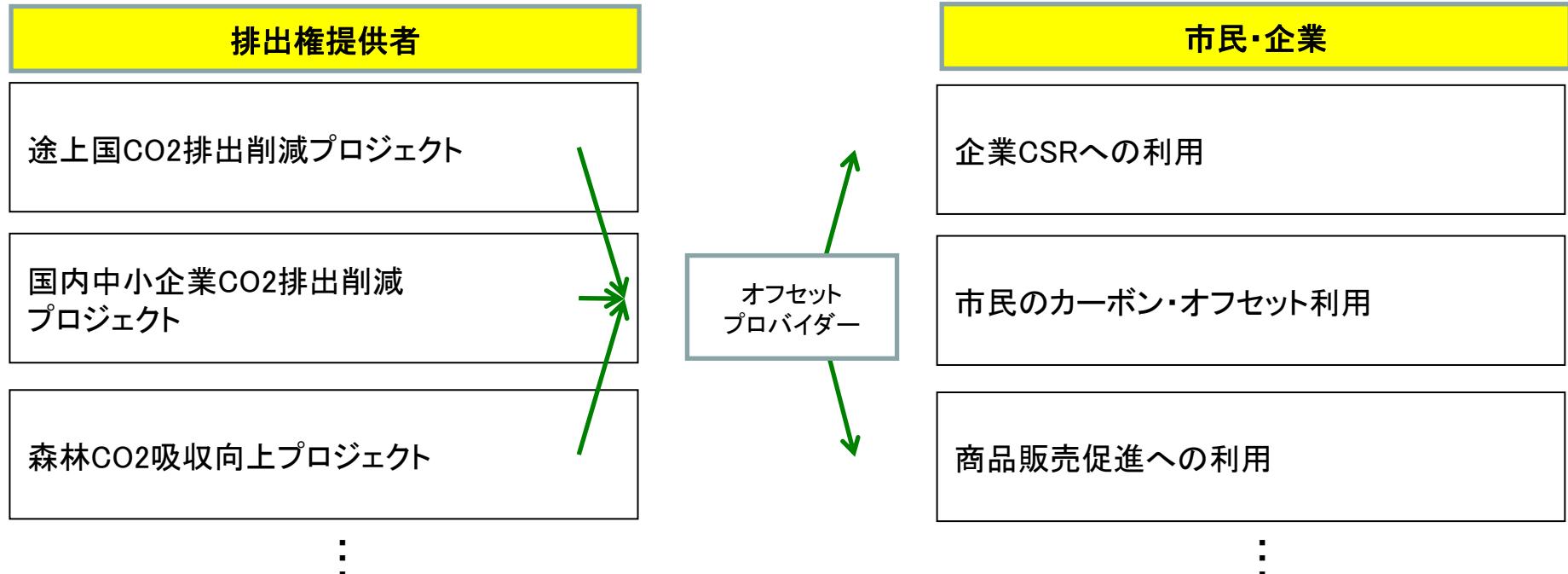
カーボン・オフセットとは

- 日常生活や経済活動において避けることができないCO₂等の排出について、まずできるだけ排出量が減るよう”削減努力”を行い、どうしても排出されてしまう温室効果ガスについて、排出量に見合ったCO₂の削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方



カーボン・オフセット・プロバイダーとは

市民、企業等がカーボン・オフセットを実施する際に必要なクレジットの提供及びカーボン・オフセットの取組を支援又は取組の一部を実施するサービスを行う事業者をいう。(我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)より)



役割1

CO2削減プロジェクトからの
排出権調達

役割2

ニーズに合わせた排出権の提供

役割3

効果的なカーボン・オフセットの
支援

カーボン・オフセットの課題

- カーボン・オフセットの取り組みに対する信頼性

- ① オフセットの対象となる活動に伴う排出量を一定の精度で算定する必要があること
- ② オフセットに用いられるクレジットを生み出すプロジェクトの排出削減・吸収の確実性・永続性を確保する必要があること
- ③ オフセットに用いられるクレジットのもととなる排出削減・吸収量が正確に算定される必要があること
- ④ オフセットに用いられるクレジットのダブルカウント(同一のクレジットが複数のカーボン・オフセットの取組に用いられること)を回避する必要があること
- ⑤ オフセット・プロバイダーの活動の透明性を確保する必要があること
- ⑥ オフセットが、自ら排出削減を行わないことの正当化に利用されるべきではないとの認識が共有される必要があること

(我が国におけるカーボン・オフセットのあり方について(指針)より)

カーボンオフセット協会とは – 協会概要

カーボンオフセット協会について

日本における健全なカーボンオフセット市場の発展と、信頼性のあるカーボンオフセットの普及促進を目的とし2008年9月に発足しました。

会員:

正会員 10社

賛助会員 7社、1自治体

役員プロフィール:

【会長】

井手 敏和

(ジーコンシャス株式会社)

【副会長】

松尾 直樹

(株式会社PEARカーボンオフセット・イニシアティブ)

長谷川 勝也

(株式会社エコノス)

【監事】

村上 賢之

(一般社団法人日本カーボンオフセット)

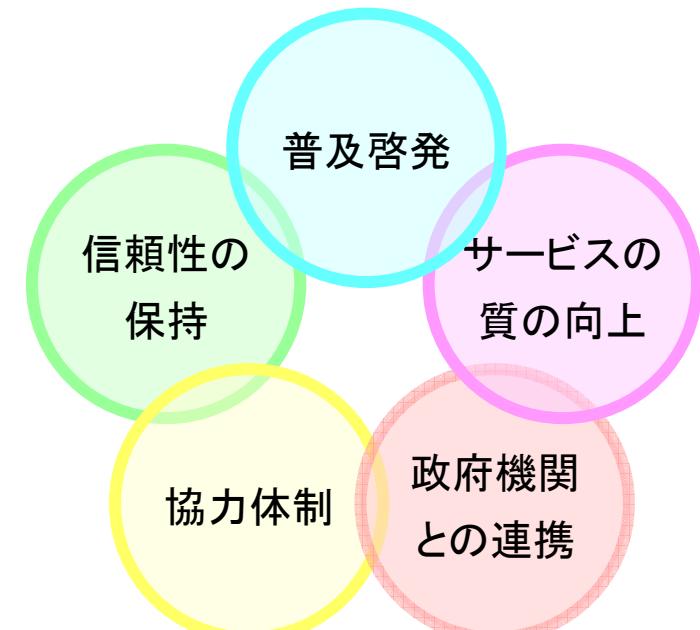
【事務局】

株式会社リサイクルワン

協会の理念

- 当協会は、世界レベルでの温室効果ガス削減への自主的取り組みとして、カーボンオフセットが有効な手段であることを認識し、その健全な普及に努め、個人・法人の環境意識の向上を通じて低炭素社会の早期実現に寄与します。
- カーボンオフセットプロバイダー同士の協力と政府機関の連携を通じて、ユーザーへの説明責任を果たしながら、信頼性の高いカーボンオフセットの普及・促進を行います。

協会の行動指針



カーボンオフセット協会の会員(五十音順)

正会員

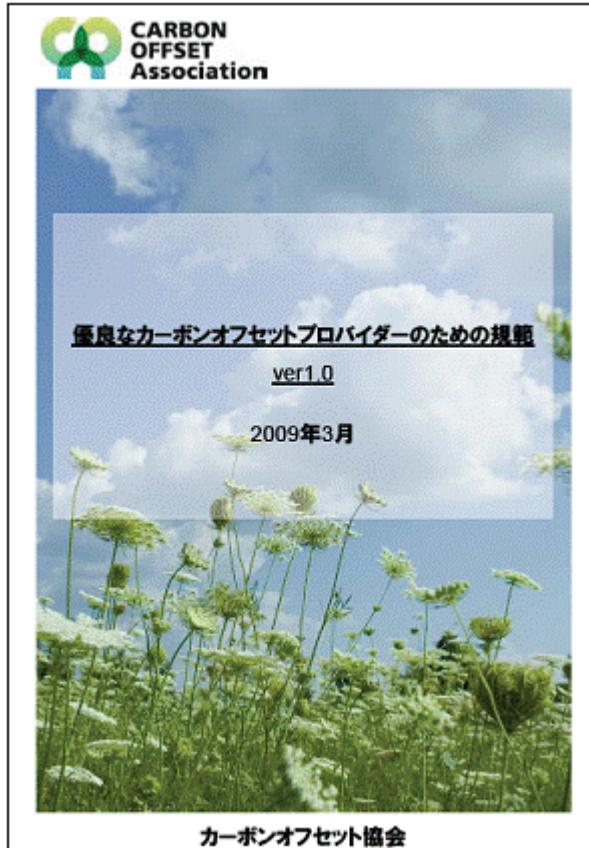
株式会社エコノス
カーボンフリーコンサルティング株式会社
株式会社木楽舎
株式会社サティスファクトリーインターナショナル
ジーコンシャス株式会社
株式会社スマートエナジー
一般社団法人日本カーボンオフセット
株式会社PEARカーボンオフセット・イニシアティブ
一般社団法人モア・トウリーズ
株式会社リサイクルワン

賛助会員

首都圏リース株式会社
新潟県
株式会社ビットアイル
ビーリングシステム株式会社
三菱商事株式会社
三菱UFJリース株式会社
ローディアジャパン株式会社
株式会社伸和

信頼性の高いカーボンオフセットの普及のために

行動規範



当協会では、当協会の理念を実現するために、消費者・顧客保護、カーボンオフセットプロバイダーの健全性の保持、サービス品質の向上、業界の信頼性向上に努めるため、自らを律する規律として、優良なカーボンオフセットプロバイダーのための行動規範を定めています

適正なカーボンオフセットの手順

- ① バウンダリーの設定
- ② カーボンオフセットする量の特定
- ③ 排出削減（吸収拡大）クレジットの調達
- ④ 排出削減（吸収拡大）クレジットの無効化
- ⑤ 証明書などの発行

政府の推奨する温暖化防止に貢献できる取組・機会

Challenge1

エコな生活スタイルを選択しよう



クールビズや
ウォームビズの実践

Challenge2

省エネ製品を選択しよう



省エネ家電への買い替え

Challenge3

自然を利用した
エネルギーを選択しよう



「太陽光発電」の導入

Challenge4

ビル・住宅のエコ化を選択しよう



エコリフォーム

Challenge5

CO₂削減につながる
取組を応援しよう



地元食材を使って
地産地消

Challenge6

地域で取組む温暖化
防止活動に参加しよう



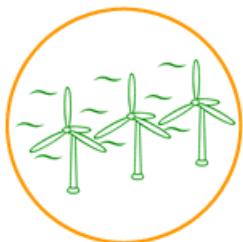
カーシェアリングや
レンタサイクルを利用



マイバッグや
マイボトルの使用



エコカー購入



風力発電の設備を
地域住民で購入する



エコビル化



パーク＆ライドで
公共交通機関を利用

カーボンオフセットは、環境省の推奨する温暖化防止に貢献できる取組のひとつ

出所: 環境省「チャレンジ25キャンペーン」6つのチャレンジより抜粋

(参考) カーボンオフセットの信頼性確保のための各種ガイドライン



あり方(指針)

算定ガイドライン

情報提供ガイドライン

第三者認証基準

2008年2月7日発表

2008年10月6日発表
2009年8月7日改訂

2008年10月30日発表

2008年3月18日発表
2010年4月1日改訂

出所: 環境省、J-COF

カーボンオフセットに対する最近の政策的な後押し

グリーン購入法の改正

グリーン購入法 基本方針

平成22年2月5日変更閣議決定

3. その他環境物品等の調達の推進に関する重要事項

(6) 環境物品等に関する情報の活用と提供

環境物品等に関する情報については、各種環境ラベルや製品の環境情報をまとめたデータベースなど、既に多様なものが提供されている。このため、各機関は、提供情報の信頼性や手続の透明性など当該情報の適切性に留意しつつ、エコマークや、エコリーフなどの第三者機関による環境ラベルの情報の十分な活用を図るとともに、温室効果ガス削減のための新たな取組であるカーボン・オフセット認証ラベル、カーボンフットプリントマークを参考とするなど、できる限り環境負荷の低減に資する物品等の調達に努めることとする。また、国は、各機関における調達の推進及び事業者や国民の環境物品等の優先的購入に資するため、環境物品等に関する適切な情報の提供と普及に努めることとする。

カーボンオフセット認証ラベルを取得することで
官公庁向け営業の一つの売りにすることが可能

チャレンジ25



【Challenge1】

エコな生活スタイルを選択しよう



【Challenge2】

省エネ製品を選択しよう



【Challenge3】

自然を利用したエネルギーを選択しよう



【Challenge4】

ビル・住宅のエコ化を選択しよう



【Challenge5】

CO₂削減につながる取組を応援しよう



【Challenge6】

地域で取組む温暖化防止活動に参加しよう



地元食材を使って
地産地消



カーボン・フットプリントで
商品を選択



カーボン・オフセット
商品を選択

チームマイナス6%に続く国民運動の一環として
消費者・取引先に訴求することが可能

お問合せ

ご清聴ありがとうございました！

お問い合わせ先：
カーボンオフセット協会 事務局
〒150-0002
東京都渋谷区渋谷3-10-13 渋谷Rサンケイビル6F
株式会社リサイクルワン内
電話:03-5774-0600
FAX:03-5774-0601

株式会社エコノス
北海道札幌市白石区北郷4条13丁目3-25
電話:011-875-1996
FAX:011-875-1997
Mail:carbon@eco-nos.com